

I . 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の地域福祉に関する意識と実態を知ることにより、(仮称)「泉佐野市地域福祉計画」策定ならびに市民と共に市が行う地域福祉に向けた施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

市内在住の満 18 歳以上の男女

(2) 標本数

3,000 人 (女性 1,563 人、男性 1,437 人)

(3) 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法

郵送による配布及び回収 (調査期間中にはがきによる督促状兼礼状を 1 回送付)

(5) 調査期間

平成 16 年 9 月 21 日から 10 月 10 日まで

(6) 調査内容

- ①個人属性について
- ②地域における人間関係や暮らしやすさについて
- ③日常の困りごとや不安についてについて
- ④行政サービスの利用についてについて
- ⑤福祉に関する意識についてについて
- ⑥地域における活動についてについて
- ⑦社会福祉協議会について
- ⑧だれもが暮らしやすいまちにするために必要なことについて

3. 回収状況

標本数	回収数	有効回収数 (率)			
		全体	女性	男性	不明
3,000 (100.0%)	1,433 (47.8%)	1,433 (100.0%)	872 (60.9%)	554 (38.7%)	7 (0.5%)

4. 報告書の見方

- (1) 比率は、原則として各設問の無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分比（％）を表している。1人の対象者に2以上の回答を求める設問では、百分比（％）の合計は100.0％を超える。
- (2) 百分比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体の示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 分類別の表中の百分比（％）は、すべて各分類項目の該当対象数を100.0％として算出した。
- (4) 図表にある「N」は、集計対象票数（あるいは、分類別の該当対象数）を示し、比率は「N」を100.0％として表した。
- (5) クロス集計の結果を示す図表においては、該当者の少ない分類項目、および「その他」「不明（無回答）」は省略しているものがあり、各分類項目の該当対象数の合計と集計対象総数は一致しないことがある。
- (6) 表の単位は、2段の場合、上段が実数、下段が構成比（％）、1段の場合、構成比（％）である。
- (7) クロス集計表については概ね、回答率最も高い枠と二番目に高い枠を色分けした。（「わからない」にあたる場合は除く）

（例）

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
①近所とのつきあい	15.8	12.2	56.5	4.7	2.7	4.8
②近隣の生活マナー	9.6	10.5	48.9	12.8	9.2	3.5
③町会や自治会の活動	6.4	7.3	49.6	7.2	5.2	18.1
④病院など医療関係施設	7.9	15.6	41.9	13.7	11.1	3.4
⑤買い物などの便利さ	22.6	24.0	33.1	8.0	7.1	0.4
⑥公民館活動など	3.0	4.5	39.6	7.8	7.6	30.1

回答率 第1位
回答率 第2位